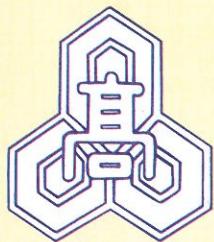


大田高校 P T A 広報



泰山木

Taisanboku

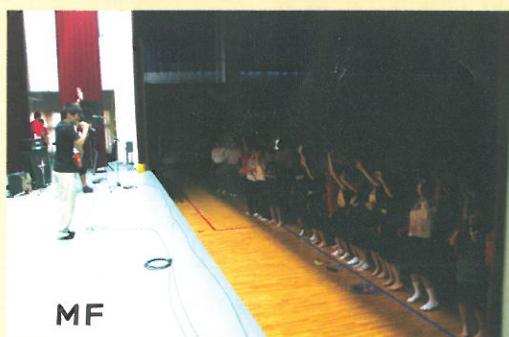
第98号

平成25年12月24日

島根県立大田高等学校
P T A 総務委員会



jo いんと！ ~それいけ！大高コネクション~



MF



綱引き



応援

中国・四国地区PTA連合会に参加して PTA副会長 宇谷留美

七月十二日、第五十五回中国・四国地区高P連大会（島根大会）へ、大田高校からは、校長先生と数名の先生方、PTA役員が参加しました。午前中の講演会では、「家庭内のコミュニケーションを考える」聴く力の種」と題して、香川奈緒美先生が講演されました。コミュニケーションとは気づきであり、家庭内では、子供が何を聞いてほしいかを理解し、話しやすい環境をつくることが大切だと思いました。午後の部は、県内三校の高校生による発表が行われ、出雲農林高校からは太鼓部、大社高校からはダンス同好会、浜田商業高校からは郷土芸能部による石見神楽の舞いが会場にいる一六〇〇余りの参加者を魅了し、拍手喝采で大変盛り上がりました。

その後の研究協議は、徳島・愛媛・島根の三校のPTAから発表され、どの学校も熱心な取り組みをされていました。中でも、隠岐島前高校からは、地域おこしとPTAをテーマに発表され、少子化による人口減少、生徒数減少など、これから世代にとっては、大変興味深く感じました。

この研修に参加して、学ぶことや考えさせられることは多かつたですが、今後の活動に活かせればと思います。



全国高等学校PTA連合会大会報告 PTA会長 幸増浩一郎

八月二十二日、第六十三回全国高等学校PTA連合会大会（山口大会）へ、本校からは川上教頭先生と私の二名で参加しました。今年はお隣の山口県での開催であり、前月には松江で中四国大会を開催したこともあり、御礼の意味も含めて島根県内PTAからも多数参加されました。私は昨年の和歌山大会に続いて二度目の参加です。

今大会は開催に至るまでにアクシデントが重なり、運営に相当ご苦労をされたようです。まず当初予定されていた会場が使用できず、会場が各地に分散して、例年より一日短い変則日程での開催となつたこと、そして七月末に山口県東部および益田・津和野を襲った集中豪雨でJR山口線・山陰線が不通になるなどの災害が起きたことです。前日夜に島根県高P連の交流会が予定されていたので、教頭先生と私は各々交通を工夫して山口市に入りました。翌日、私は宇部市の会場に早朝より移動。安倍首相のメッセージ、下村文科相の基調講演を映像で拝見し、午後から記念講演、分科会に参加しました。分科会では和歌山東高のPTA会長が、硬式野球部創部の取組事例を面白く語られ、とても興味深く拝聴しました。

会場の一角、PTA広報誌「泰山木」が置いてありました。人目に付きにくく少々寂しい展示でした。

大田高校周辺の清掃活動について

PTA生活指導委員長 山内邦彦

大高恒例のロードレースが開催される前、十月十九日（土）白井校長、教職員三名、幸増会長、生活指導委員会所属の会員六名の参加で、コースの除草作業を今年度のPTA奉仕作業の一環として取組みました。

毎年ロードレース前にコースの安全確保の除草作業を事務の安原さんが一人でされているので、PTAの奉仕活動としてやつてはどうかと持田先生からの提案でした。コースは除草作業によつてきれいになり、今回の作業で当日の生徒たちの安全を確保が出来たと思います。

またコースが通学路の大田一中の保護者からも謝辞があり、僅かでも地域貢献できだと喜びました。



ロードレースの監察をして

PTA監事 柳澤 康行

天候はどうかなと案じて待ち望んでいたロードレース当日は秋晴れのとても気持ちのよい日となりました。女子の折り返し地点で給水のお茶を用意しながら待つ

ていると、来ました、「あーしんどい。」「もう一だめ。」「いろんなことを言いいながら。お茶を口に含んだり、中には味わつたり？様々な表情でギアをリセットして再び走り始める姿を見ると、微笑ましくなるとともに、応援にも熱が入りました。た。

男女とも全員完走したのを聞いて、さすがだなと感心させられました。なんだかんだと言つてやり通す「文武両道」を目指す大高生を目の当たりにしてすがすがしい一日となりました。

理数科筑波研修・サイエンスセミナー

理数科主任 今若誠己

今年も、科学に対する興味関心を育てる目的に、恒例

の校外学習を実施しました。生徒は大いに刺激を受けたようです。

一年生は、九月十一、十二日の両日に三瓶自然館サヒメルを主会場に『サイエンスセミナー』を行いました。『太陽黒点の観察』、『ラドンの調査』、『バードウォッチング』、『ダンゴムシの行動研究』、『和牛ファーム体験』、『埋没林公園見学』等、盛り沢山のプログラムでした。二年生は、十月三～五日の三日間の行程で『つくば研修』を実施しました。JAXA見学や産業技術研究所等最先端の研究施設での見学・研修を行いました。また、夜は瓶陵会関東支部の卒業生の皆さんとの交流もあり、同窓の絆も深まりました。

PTA交流委員会の活動について

PTA会員交流委員長 引田佳山

十月二十九日（火）ロードレース終了後に、

役員・評議員交流会を試みました。

白井校長始め監察指導員をしていた皆様と共に有志女性五名の手作りの温かい豚汁とおにぎりをおいしくいただきました。総勢二十名弱ではございましたが楽しいひとときを過ごすことが出来ました。課題もあり収穫もありました。家族が出かけた昼間だから出られる交流会でしたがたいという意見や、仕事が終わつた夜ながたいという意見や、仕事が終わつた夜なれば出やすいが平日の昼は無理等の意見が出ました。今後のPTA交流委員会の活動に生かして行きたいと思います。

部活動への取り組み

二年一組 横田 憲優

私は大田高校野球部の主将を務めさせてもらっています。私達は日々どんな相手にも負けないチームを目指して練習に励んでいます。自分は主将としてチームを勝利に導く責任があります。支えて下さる全ての方に最高の恩返しが出来るように全力を尽くします。

「努力は嘘をつかない。」この言葉を信じて練習するのみです。我が校の校歌を甲子園に響かせます。

二年二組 大谷 敦也

僕たち男子硬式テニス部は、皆で中国大会出場を目標に、日々の練習に励んでいます。僕たちは、大会で見つけた課題を中心とした練習と基礎の練習を行っています。僕はまだチークムに貢献できていない部分があるので、努力してチームに貢献できる部員の人になりたいです。

進路への取り組み

二年四組 和田 悠花

学びとは知識を実践し、役立てられることだと思います。そして今の社会で必要とされるのはそういった能力であると言われています。大学とは社会で必要な能力を高める場所です。今私が将来のためすべきことは、自分の持てる能力を可能な限り高め、本当の意味での学びを深めるため努力を重ねること、それを学力向上に繋げていくことで、それを精一杯頑張りたいです。

私は陸上競技部に所属しています。今年は新しい種目に挑戦し、中国大会に出場しました。顧問の先生やたくさんの方々に声援していただき、良い経験になりました。私はこの大会を通して、今までよりもっと自分の種目が楽しいと思い、新たな目標もできました。その目標を達成するために、限られた練習場所で一つ一つの練習を大事にし来シズンに向けて頑張っていきたいです。

りたいです。

一年一組 大國 真衣

私は高校になつて徐々に自分の夢が見えてきました。しかし、定期試験や模試を受けるなかで、夢を叶えるためにはまだまだ努力が必要だと日々感じています。そして今私がやらなければならぬことは、毎日の授業や一回の試験に一生懸命取り組むことだと思っています。不安になつたり、落ち込むこともありますが、三年後の自分のために精一杯頑張りたいです。

平成25年度 校内ロードレース ランキング10



順位	学年・組	氏名	記録 分 秒
1	1年3組	田部 律子	33 09
2	2年1組	松本 汐梨	33 14
3	2年1組	岩谷 亜衣	33 23
4	1年2組	蘿 真穂	35 20
5	2年2組	川上 夏穂	35 57
6	1年4組	高野 結友	37 04
7	1年4組	吉川 優奈	38 20
8	3年1組	森脇 晴香	38 50
9	1年1組	大隅 綾乃	39 22
10	3年2組	吉川 彩香	39 43

【女子】

二年三組 岡田 莉奈

私は女子バレー部のマネージャーをしています。十一月に行われた選手権では、個人の課題やチーム全体の課題がたくさん見つかり、その課題をクリアするために一人一人が毎日自分の目標を持つて練習に取り組んでいます。私はマネージャーとして、しっかりとチームを支え、皆が練習しやすい環境をつくれるように努力したいです。

私は大学卒業後、看護師になりたいと思っています。そのためには、今の自分の学力を上げることが必要なので、がんばりたいと思います。部活との両立というのも難しいですが、時間がないうなりに工夫をすることで時間をつくつていきたいです。私は数学があまり得意ではないので得意になるように頑張ります。

一組

担任 田中 求

副担任 石原 寛治

私たち一年一組は、男子十三人
女子二十五人計三十八人の仲の良
いクラスです。

担任はガツツあふれる田中求先

生で、副担任は、厳しく私たちの
指導をしてくださる石原先生です。
私たちのクラスはチームワーク
に自信があります。

一学期の球技大会では、練習か
らみんなで力を合わせてがんばり
ました。本番での優勝にはいたり
ませんでしたが、クラス全員がま
とまつた感じがしました。特にそ
う思ったのは応援のときです。男
子は女子を、女子は男子を大声で
本気で応援しました。チームワー
クが高まつたいい球技大会となり
ました。

合唱コンクールも同じようにみ
んな団結して練習にとり組み、充
実したものでした。

普段の一組の教室はとてもにぎ
やかです。休み時間になると笑い
が絶えない楽しい教室となります。
授業になるとみんな静かに集中し

てどりくみます。ねてる人もいます
が……

あれやこれやであつという間に十
二月です。一年一組のみんなと過ご
す時間も残りわずかです。

一年間の締めくくりとしてこれから
悔いのないような学校生活を送ろ
う。

和田俊乗



二組

担任 松原 隆

副担任 莢田 桂子

ここには//私達一年二組は男
子二十一人、女子十八人の計三十
九人と、担任の「ダーツ!!」や
「ピヤーッ!!」など擬音語が大好
き♪シユモクザメ系四十代、最近
四十肩で肩が上がらないぞ☆の松
原先生と、副担任のいつも冷静沈
着で怒ったとこを見たことない!?

でも最近授業をするクラスを間違
えちゃう♥ちょっと天然かな??の
苅田先生とで毎日楽しくガヤガヤ
やっています!!

一年一組は調子の良い時はどて
もにぎやかですが、テンションの
低い時は授業にこられる先生も驚
くくらい、静かで反応が薄いです…
テヘペロ☆しかしやる時にはやる

クラスですノ合唱コンクールでは
音も何も分からぬゼロの状態か
ら素晴らしい合唱をつくりあげる
ことができました。と、いうのは
嘘で気持ちだけで結果はだめだめ
だったのだ→でもぜんぜん大丈
夫☆私達は合唱をもとに、より心
が一つになつた気がしたんだもん

そんな一年二組のみんなと過ご

すのもあと少しなのだ：泣でも高校
生活ここからが勝負!!クラスはバラ
バラにならぬ!!それ道で頑張ってゆくんだ!!と、このような事

事をみんなに意識しているクラス
なのだ☆なんちゃんて泣あわわくも
う終わりの時間なのだ。

これでクラス紹介を終ります。

岡佑一郎・田中望実
蘿 真穂・恒松巧己



三組 担任 阿部 敦子
副担任 山尾 祐

皆さんこんにちは!!僕たち一年三組は男子二十名、女子十九名の総勢三十九名のクラスです。担任の先生は、いつも優しい、みんな大好き阿部先生。副担任は剣道で鍛えた体が逞しい山尾先生です。僕たち一年三組は一人一人が独得などても個性的なクラスです。周りに流されることもなく、自分自身の個性を發揮させています。しかし、授業中は皆集中しているのか、寝ているのかわかりませんがとても静かです。静かすぎて「反応してくれ。」と先生から注意を受けることもあります。球技大会では大半が野球経験者といいう男子は優勝が大いに期待できましたが惜しくも破れ、その分、女子がバレー・ボールで準優勝するという結果も残しています。合唱コンクールは最初はグダグダで丈夫かあと思っていましたが、文化祭当日は歌い通すことが出来ました。



いつもまとまりがありません。阿部なことをする時が唯一、一回でまとまることがあります。(汗) ただ、体育祭は先輩のおかげでまとまり優勝することができ、いいとこ取りの三組なのかもしれません。

そんなこんな三組ですが、授業中以外はとても元気です。このメンバーで過ごす時間は残りわずかですが、楽しく過ごしていきましょう!!

大門晋平

四組 担任 森 星児
副担任 渡辺 克人

ここには!!一年四組です☆僕たちは男子二十二名、女子十四名の計三十六名で明るく元気に活動しています。男子はやんちゃ、女学生はしっかり(?)している個性派揃いのクラスです!!そんな四組の担任は非常にノリが良く、子供とゲームが大好きな古典担当の森星児先生、副担はいつもおつとり、ふんわり系男子な数正担当の渡辺克人先生です!!

『理数科』という言葉は裏面的な印象を持たれがちですが、実際は全然そんなことありません(笑) 授業中はとつとも楽しい雰囲気で、時にはおしゃべりがすぎて注意されることも……(笑) ですが、授業で興味を持ったこと・疑問に思ったことに対しては、とことん追求します☆

そして行事はというと……(汗)なかなか結果がついてきません(泣) 「四組って真面目で運動オーナーのかな??」と思っているあなたっ!! そんなこと思えるのは今のうちですよ??(笑) 次の球技大会では華麗な頭脳派(?)プレーをお見せすると

しましよう(笑)メロメロになつてもしりませんよ(ドヤ)。そんなこんなで明るく楽しい美男美女揃い(?)な四組、楽しすぎてハメをはずさず、常に追求心&向上心を持ちながら過ごしていくので、よろしくお願ひします!! 理数科、高Eリン酸結合のような団結で頑張ります♡

安藤 謙・沖野公香



学園祭を終えて

生徒会長 幸増 悠佑

2013 大高祭のテーマ「J.O.I.N」とは、「楽しく(JOY)とつながる(JOIN)」を合わせて生徒会執行部が作った言葉です。今年は校舎改築工事の為、例年通りにいかず様々な困難がありました。しかし、その言葉のとおり三年生を中心として全生徒がつながり困難を乗り越え、笑顔で大高祭を終えることができました。一人ひとりの力は小さいけれど大高生みんながつながれば、大きな力になることを実感しました。本当にありがとうございました。

赤組團長 三年三組 松田 健太郎
青組團長 三年二組 松村 亮佑
黄組團長 三年四組 野木 碧斗
大高祭を振り返つてまず思つのは、く間に過ぎていきました。実際に終わってみると、夏休み前思つたことは消えさり、受験に向け更なる意欲が湧きました。学年全体として受験を成功させたためにも、学園祭で培つた団結力を発揮して受験勉強でも協力してやつていただきたいと思います。皆、頑張りましょ！

生、頑張ってくれた一・二年生、ありがとうございました。こんなテンションの低い、「お前が団長かよ」という团長でしたが、付き合い頂きありがとうございました。

全国大会に出場して

団碁部

岡 菜津希

高校三年間の最後の大会でした。総文祭には三年連続出場したのですが、

今年の大会が一番緊張しました。私は個人戦に出場して、また今年も三勝三敗という結果でした。悔いがなく終わられたと言えど嘘になりますが、四勝でうまい具合に事を運べる訳でもなく悩んでいた時に手助けをしてくれたのが3-2の皆さんでした。自分は青組の事情もしか分かりませんが、他の三組もすばらしい練習の取り組みだったのだと思います。こんなすばらしい思い出をありがとうございました！

のほかいろいろなことを学ぶことができ、とても貴重な体験ができました。この体験を今後に活かしたいです。

弓道部

月森 瑛美

私はインターハイで準決勝敗退しました。決勝に残ることを目標としていたので決勝進出まであと一本足らず行けなかつたことはすごく悔しかつたです。だけどインターハイに出場できたことは私の誇りです。そして自分を支えてくれた部員をはじめ多くの方々に感謝しています。どんなに苦しい状態が続いても努力し続けければきっと花開くので、今の一、二年生達にも努力を惜します頑張つてほしいと思います。

全国選抜大会に向けて

弓道部

厚朴 信宏

全国選抜の前に行われた中国新人で、インターハイ優勝の倉吉西高校などの全国レベルの弓道を見る事ができました。そして、今の自分に足りないものや、これからしていかなければならぬ課題を見つけることができました。

全国選抜までの間、その課題を乗り越えるために、そして全国選抜で良い結果を残すために、限られた時間を大切にして、本番、悔いの残らないような、自分らしく思い切った射をしていくたいと思います。

文芸俳句部

武間 真人

今回総文祭に参加させてもらいましたが、様々な行事を通して、俳句について学んだり、長崎の歴史や文化、そ

緑組團長 三年一組 宮原 聰大
皆様、お疲れ様でした。宣誓で言つた通り、当日は少々地面もびつちよんこでしたが、生徒一人一人の心の炎もボーボーだつたので無事終える事ができました。緑組は、あと一步足りない微妙な結果となつてしましました。優勝しか考へてなかつたので、すごく悔しいです。ですが協力してくれた三年

僕は学園祭の前の夏休み、学園祭後に間に過ぎていきました。実際に終わつたら、学園祭が終わらないでほしいと思つたことを覚えています。しかし学園祭の三日間は充実したもので、瞬く間に過ぎていきました。実際終わつてみると、夏休み前思つたことは消えさり、受験に向け更なる意欲が湧きました。学年全体として受験を成功させるためにも、学園祭で培つた団結力を発揮して受験勉強でも協力してやつていただきたいと思います。皆、頑張りましょ！

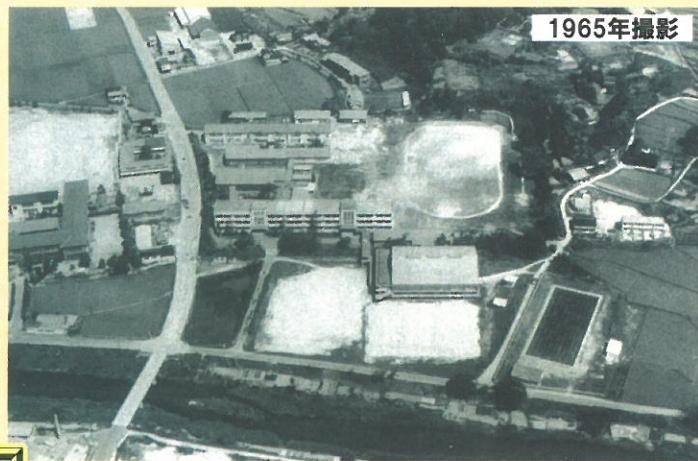
文芸短歌部

池之平 五月

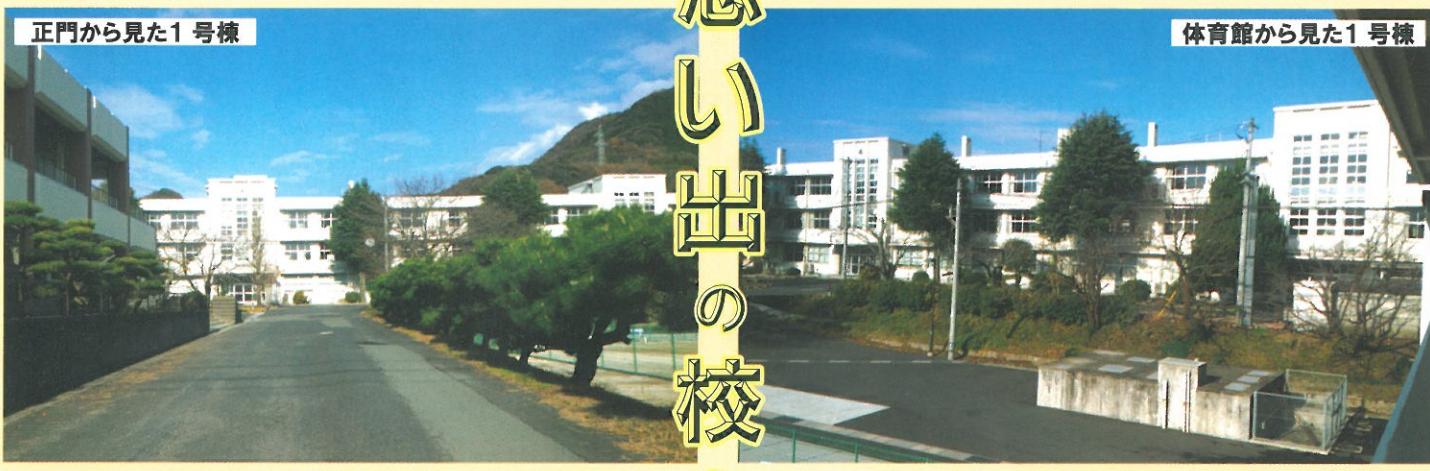
今年初めて参加しましたが、他県の生徒さんたちと交流ができて良かつた

自分は団長をするつもりなど全くなく、ただ一人の三年生として大高祭を楽しんでやろう、というつもりでした。しかし、悪夢はやつてきました。クラスの多數決で選ばれてしまつたのです。こうして、自分でも何がどうなつたのかよく分からぬまま団長になつてしまつたのですが、一年、二年生との練習が始まると、あれだけ嫌がつていた気持ちがどこか遠くへ行つてしまいまし

た。三年生のみんなにもいろいろな所で助けてもらい、改めて多くの人に支えてもらつていることを知りました。長崎の総文祭は本当に楽しかつたです。参加できて良かつたと思いました。



思 い 出 の 校 舎



二十一世紀に向かって新しくなつていい校舎を期待と希望で迎えながら、二十一世紀を見つめてきた現校舎に対し、恩師の先生方に対するのと同様の感謝とねぎらいの気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。そして、卒業生が過ごしたそれぞれの三年間は永遠に不滅です。

(尾川)

現在大田高校校舎一号棟の建て替え工事が進行中で、数年前に改築した体育館を含めて、校内環境が大きく変わろうとしているところです。

四十年前に入学した私は、木造校舎で一年間を過ごした後現在の校舎一号棟の二階に移り、旧体育館や竣工直後の岩谷会館や桜の木などを眺めながら、やつと大田高校生らしくなれたかなと自己満足していました。

あれから四十年が経ち、私も校舎も長い時間を刻んできました。一年生の冬には、大田高校のシンボルである泰山木が火事で負傷しました。その後クラス数の減少もあってところどころ模様替えされたり、教室にエアコンが設置されたりして、当時からは想像できないほど随分ゆとりのある校舎に変容していきました。今振り返つてみれば、これまでたくさん生徒・先生の長い高校生活を見守つてきましたなどという歴史に気付かされます。近々解体されるこの校舎(教室)は、我々の生徒・先生の長い高校生活を見守つてきましたなどという歴史に気付かされます。

二十一世紀に向かって新しくなつていい校舎を期待と希望で迎えながら、二十一世紀を見つめてきた現校舎に対し、恩師の先生方に対するのと同様の感謝とねぎらいの気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。そして、卒業生が過ごしたそれぞれの三年間は永遠に不滅です。

編集後記